

モニタリング結果報告書 (令和3年度)

1. 施設概要

施設名	相模湖公園	相模湖漕艇場
所在地	相模原市緑区与瀬	相模原市緑区与瀬340番地
サイトURL	http://www.sagamiko.info/	http://kra.or.jp/
根拠条例	神奈川県都市公園条例	神奈川県立相模湖漕艇場条例
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (昭和33年11月)	ボートの競技等を通じて県民のスポーツの振興を図るため(S38年)
指定管理者名	一般社団法人相模湖観光協会・特定非営利活動法人神奈川県ボート協会グループ	
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	
施設所管課	都市公園課	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p>(一体としてのコメント) 相模湖公園と相模湖漕艇場を一体管理運営することにより、公園で行う地元小学校及び養護学校の生徒との花植えイベントに漕艇場職員が参加し、相模湖で行われるボート・カヌー競技の際には、公園施設及び駐車場を使用しながら柔軟な大会運営が可能となるなど、一体での管理運営の効果がみられる。 今後も、相模湖公園と相模湖漕艇場の更なる連携を期待する。</p>
<p>■相模湖公園について</p> <p>利用状況の評価はC、利用者の満足度はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はBとなった。 利用状況について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大規模イベントが中止となったことから、利用者数は、前年比の115.7%となり、前年度より持ち直したものの、目標値に対しては69.2%と大幅な減となったことから、C評価となった。 なお、上記3項目以外では、苦情、事故が1件も発生しておらず、適切に管理運営が行われていたことは評価できる。 引き続き、利用者の満足度の維持及び利用者の安全に配慮した管理運営に努めるほか、新型コロナウイルスの感染が収束した後は、イベントの開催などを通じて、地域活性化に寄与する取組を行ってほしい。</p>
<p>■相模湖漕艇場について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により利用状況がC評価となったものの、提案に基づく指定管理業務を着実に実施した。老朽化した施設の修繕に努め、東京2020大会の事前キャンプやボート体験教室の開催等を通して地域振興を図り、ホームページを活用した情報発信や広報を積極的に行うなど、利用者に対するサービスの向上策に努めた。その結果、利用者の満足度の評価結果がS評価、収支状況の評価結果がS評価となったことから、令和3年度の3項目評価についてはB評価とした。 今後は、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、引き続き、相模湖公園との充実した連携を行い、幅広い利用者層に対するサービスを充実強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。</p>
<p><各項目の詳細説明></p>
<p>■相模湖公園について</p> <p>◆管理運営等の状況 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大規模イベントを中止せざるを得ない状況であったが、地元の小学校、養護学校及び保育所などと連携して花植えを行い、子供たちの公園への理解を深めるなど、地域に根ざした活動を行った。また、維持管理業務においては、園内清掃を入念に行うほか、地下駐車場の外壁タイルの老朽化が進んでいることから、前年度までに引き続き、利用者の安全性の確保及び美観上の観点から、積極的に修繕工事を実施するなど、良好な実績を上げた。</p> <p>◆利用状況 前年度は4月下旬から5月に駐車場閉鎖を余儀なくされ、利用者数が大幅に落ち込んだが、令和3年度は概ね例年どおりの利用者が訪れた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「相模湖やまなみ祭」、「さがみ湖湖上祭花火大会」などの大規模イベントは開催できなかったことから、利用者数は、前年度比では115.7%となったものの、目標値に対しては69.2%に留まり、C評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 県が年間6回調査を実施し、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が95.0%であったことから、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 来園者数は目標値を大幅に下回ったものの、イベント以外の通常時の利用者数は、通年では概ね例年どおりであったため、駐車場収入は当初計画額より約1,310千円増となった。また、支出は概ね計画どおりであったことから、収支差額は約1,885千円、収支比率は103.68%と良好な実績をあげて、A評価となった。</p>

<p>◆苦情・要望等 地下駐車場やトイレ、ベンチなど、園内の清掃を入念に行うなどした結果、苦情・要望等是一件も無く、極めて良好な実績を上げている。</p> <p>◆事故・不祥事等 作業上の安全に配慮した結果、指定管理業務に関連した事故は1件も発生しなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査や労働基準監督署からの指摘事項はなく、良好な労働環境の確保に取り組んでおり、極めて良好な実績を上げた。</p> <p>◆その他 令和3年度の3項目評価については、B評価となった。今後も引き続き、利用者の満足度の維持に努めるほか、新型コロナウイルスの感染が収束した後は、相模湖漕艇場と連携したイベントの開催など、地域活性化に資する取組を更に充実させるよう努めてもらいたい。</p>
<p>■相模湖漕艇場について</p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて指定管理業務を着実に実施し、高校生の年間利用日を事前に把握し、一般や大学生との利用の円滑な調整を行い、各大会に向けた合宿等への全面的な協力や、障がい者やシニア層のボート競技への受入れ体制の充実など幅広い利用者へのサービス向上に努めた。また、維持管理業務については、県有艇の修繕、利用者の保管艇の修繕を行い、快適なサービスの提供をすることができた。そして、東京2020大会に向けた事前キャンプや強化合宿が相模湖漕艇場をメインに行われ、協力した。</p> <p>◆利用状況 年々シニア層の利用者や個人での利用が増加している。また、市内の中学生を対象としたボート体験や、障がい者向け乗艇体験会を実施した。さらに、施設のホームページを開設したことで利用促進が進み、大会の申込増加につながった。利用者数については、目標値を19,000人として、昨年度に引き続き、幅広いニーズをもつ利用者層へのサービスの向上を行ったが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設の休館による影響等から、9,583人となり、達成率が50.4%に留まったためC評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 7月に実施し、上位2段階の回答割合が100%となったためS評価となった。回収率も前回より上回り指定管理者の努力により高い満足度を維持することができた。</p> <p>◆収支状況 艇庫における艇の保管台数の増加に伴う収入の増加により、収支比率が108.14%となり、S評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 施設の経年劣化、老朽化による故障、破損に関する要望など指定管理者に起因しない要望が多数寄せられたが、職員による事前点検回数を増やしたり、簡易的な修繕を施すなど、適切な対応に努めている。</p> <p>◆事故・不祥事等 職員による施設の日常点検を実施するなど適切な施設運営に努めた。</p> <p>◆環境の確保に係る取組状況 労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 令和3年度の3項目評価については新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響に伴い、利用状況がC評価となったため、B評価とした。今後は、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、相模湖公園とより充実させた連携を行い、幅広い利用者層に対するサービスを充実・強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。</p>

3. 3項目評価の結果

B	3項目評価 (施設別)		利用状況 (項目6参照)	利用者の 満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。 S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要
	<参考> 相模湖公園	B	C	S	A	
	<参考> 相模湖漕艇場	B	C	S	S	

【相模湖公園】

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	隔月実施	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	植物管理、施設管理等における課題共有及び対応に向けた役割分担の確認など、随時、意見交換等を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
4月に「相模湖やまなみ祭」のイベントを実施。相模湖やまなみ祭実行委員会と連携し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は6,000人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	
6月下旬から7月上旬に七夕の飾り付けイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は500人	6月27日～7月7日で七夕の飾り付けを実施した。近隣の養護学校及び保育園3園の児童や来園者が、園内に設置した竹に、願い事が書かれた短冊の飾り付けをした。参加者数は約250人であった。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施した。保育園などの年間行事として恒例になっており、来園者の家族に人気がある。
8月に「さがみ湖湖上花火大会」のイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は50,000人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	
12月に「相模湖公園イルミネーション」のイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は3,000人	12月1日～12月30日で相模湖公園イルミネーションを実施した。例年であれば、相模湖駅前でのイベント、湖畔商店会による飲食提供等があるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、飾り付けのみとなった。参加者数は約820人であった。	近隣に人気のある民間施設があることに加え、イベントが実施できなかったことから、計画参加人数には及ばなかった。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和3年度
利用者数※	163,342	95,742	110,726
対前年度比		58.6%	115.7%
目標値	160,000	160,000	160,000
目標達成率	102.1%	59.8%	69.2%

目標値の設定根拠： 提案書記載の目標数値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】
 （※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「やまなみ祭」、「さがみ湖湖上祭花火大会」などの大規模イベントを中止したことから、利用者数が大幅に減少した。

②令和3年度の対応状況
 マスク着用、手指アルコール消毒、体温測定などの感染症対策を講じた上で、地元保育園などが参加する七夕の飾り付けや、地元小学校及び養護学校が行う花植えなど、実施可能な小規模なイベントを行い、利用促進に努めた。

7. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、県による休日3回、平日3回の計6回調査の結果を使用する。 指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に満足度が高かった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 81 / 81 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	64	13	0	4	0	81	
回答率	79.0%	16.0%	0.0%	4.9%	0.0%		
前年度の回答数	94	13	0	0	0	107	
前年度回答率	87.9%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	89.9%	132.1%					

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

<p>【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照</p> <p>②令和3年度の対応状況 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照</p>

8. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	37,787	0	12,798	駐車場：12,798	50,585	50,585	0	
	決算	37,787	0	10,337	駐車場：10,337	48,124	48,096	28	100.06%
前年度	当初予算	39,068	0	12,700	駐車場：12,700	51,768	51,768	0	
	決算	39,956	0	12,339	駐車場：12,339	52,295	50,787	1,508	102.97%
令和3年度	当初予算	39,068	0	12,700	駐車場：12,700	51,768	51,768	0	
	決算	39,068	0	14,010	駐車場：14,010	53,078	51,193	1,885	103.68%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位：千円)
令和3年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<備考>

<p>【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照</p> <p>②令和3年度の対応状況 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照</p>

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。

【相模湖漕艇場】

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	年2回程度	県発注工事の監督業務にあわせて追加で現場確認を実施し、問題意識等を共有している。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	電話やメール等により、施設の管理運営に係る情報共有等、担当者レベルでの打合せを実施している。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
指定管理業務に当たっての考え方・運営方針等	相模湖公園との一体化により、協力体制も取れて、湖岸・スロープの清掃作業等、イベント等で職員同士の連携ができています。また、利用者や観光客に対する心配りが図られている。	
施設の維持管理	経年劣化している箇所がほとんどだが、職員が修繕できる箇所（施設・競技用ポート等）は随時行い、経費節減と利用環境の改善を図った。また、自動ドアサッシ扉錠前交換、地下男女シャワー点検や消防用設備の小規模修繕を実施した。	
利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	相模原市内の中学生27名が参加した年3回のボート体験や、（公社）日本ボート協会パラローイング委員会企画の「障がい者向け乗艇体験会」を実施した。また、施設のホームページを開設したことで利用促進が進み、大会の申込増加につながっている。	
事故防止等安全管理	相模湖公園と合同で「危機管理マニュアル」を作成した。利用者には、必ずトランシーバーを携帯させている。また、「カタマラン使用時の救助マニュアル」を作成して、利用者の安全対策を図っている。	
地域と連携した魅力ある施設づくり	施設は公共の場として、利用を目的としない学校・スポーツ協会等や公園の事業にも活用した。また、東京2020大会のボート競技のカナダ代表ボートチーム事前キャンプ地として、練習会場の維持管理及び選手等への支援を行い円滑なキャンプ運営に協力した。同様にパラローイング日本代表チームの合宿に協力した。	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
県民を対象とするボート教室の開催（ボート競技への理解及びスポーツの振興と普及を目的とする。）	中学生を対象とした年3回のボート体験や、パラローイング委員会企画の「障がい者向け乗艇体験会」を実施した。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和3年度
利用者数※	18,547	6,157	9,583
対前年度比		33.2%	155.6%
目標値	19,000	19,000	19,000
目標達成率	97.6%	32.4%	50.4%

目標値の設定根拠： ボート競技人口の増減や隔年毎の大会開催の有無を考慮して設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用申込書及び艇庫利用者

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

利用者数は前年度から3,426人増加したものの、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成率は約50%に留まった。

②令和3年度の対応状況

～令和2年10月24日 臨時休場（事前申込者に限り利用可能）
 令和3年10月26日～ 開場

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年2回を7月・10月に調査（ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、7月1回の実施となった。）	概ね「満足」又は「やや満足」という結果であったが、施設・設備の状態については、施設の老朽化に伴い、「やや不満」とする声が多かった。

[サービス内容の総合評価]

質問内容 施設管理に対する満足度について、該当する箇所に○を付けてください。（総合評価）

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 94 / 95 = 98.9%

配布(サンプル)対象 令和3年7月23日～令和3年8月22日の施設利用者

	満足	やや満足	やや不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合評価の回答数	73	21	0	0	94	施設の開館時間の設定、職員の接客対応等が評価されたため。
回答率	77.7%	22.3%	0.0%	0.0%		
前年度の回答数	58	29	3	0	90	
前年度回答率	64.4%	32.2%	3.3%	0.0%		
回答率の対前年度比	120.5%	69.3%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	16,791	2,091	0	0	18,882	18,882	0	
	決算	16,791	3,648	0	0	20,439	18,687	1,752	109.38%
前年度	当初予算	18,982	1,365	0	0	20,347	20,347	0	
	決算	19,305	2,363	0	0	21,668	20,351	1,317	106.47%
令和3年度	当初予算	17,776	2,571	0	0	20,347	20,347	0	
	決算	18,678	3,211	0	0	21,889	20,242	1,647	108.14%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和3年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。